



財団法人 山梨県交通安全協会
 財団法人 山梨県交通安全協会各支所
 発行所
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 055-280-5550
 〒400-0202 南アルプス市下高砂847
 (ホームページ)
<http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>

甲府交通安全協会
 韮崎交通安全協会
 南部交通安全協会
 富士吉田交通安全協会

南甲府交通安全協会
 北杜交通安全協会
 笛吹交通安全協会
 大月交通安全協会

南アルプス交通安全協会
 諏訪交通安全協会
 日下部交通安全協会
 上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所
 社団法人・山梨県バス協会
 山梨県二輪車安全普及協会
 中日本高速道路株式会社八王子支社

社団法人・山梨県トラック協会
 社団法人・山梨県自動車整備振興会
 山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
 山梨県軽自動車協会
 社団法人・山梨県建設業協会

CONTENTS

2 飲酒運転根絶へ全力	6 安協会員入会のお願い
3 来年1月から「IC免許証」	7 中学生交通安全弁論大会
4 5 各地区安協の活動	8 協賛団体の交通安全情報

年末の交通事故防止県民運動 12月1日から31日

飲酒運転追放へ全力



来年1月から「IC免許証」 平日の来場をお勧め

平成21年1月4日から「IC免許証」がスタートします。免許更新・新規取得時には4ケタの数字2組が必要になります。開始日は日曜日で、混雑が予想されます。平日の来場をお勧めします。＝詳報は3面
 山梨県交通安全協会

街頭活動で交通安全を呼びかける
 諏訪交通安全協会役員ら
 市川三郷町の富士川大橋東詰

「年末の交通事故防止県民運動」(県交通安全対策本部・県交通対策推進協議会主催)が十二月一日から三十一日までの一月間実施されます。交通量の増加に伴い、心理的に慌ただしく、飲酒の機会も増える年末は事故や違反の多発が懸念されます。

運動の重点目標は①飲酒運転等の根絶と悪質・危険な運転の追放②高齢者と子どもの交通事故防止③全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底④自転車の安全利用の推進⑤早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進一です。

県民一人ひとりが交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底させ、交通事故防止を進めてもらいたいと願っています。

交 差 点

▼県内の交通事故は、年々減少傾向にあるとは言え、まだまだ他人の不注意により尊い人命や多くの人が負傷しているのが現状で、県民の安全・安心にとって重要な問題であります。

▼交通事故の約75%は、安全不確認、動静不注意等といった運転者の認知や判断のミスによって引き起こされ、また交通死亡事故の過半数が夜間に発生し、中でも歩行者の死亡事故が70%を占めております。周囲が暗くなる夜間は、運転者の視認性が低下し、歩行者等の発見が遅れることが交通事故の大きな要因となっていることから、運転者が事前に危険要因を認知することが、事故防止には効果的であります。▼そのためには、早めのライト点灯や歩行者・自転車は反射材を着用することが大切ですが、残念なことに被害にあった事故を分析すると、ほとんどの方が着用していませんでした。「見ること」「見られること」に配慮することが、交通事故防止に最も重要であります。すべての道路利用者が反射材の効果と必要性を理解し、自転車、衣類、靴、傘等の身の回りに反射材を使用して交通事故の防止に努めましょう。▼安全は、それぞれが決められた守るべき約束事を守り、お互いの信頼関係から成り立っております。その信頼は、人と人、人と社会のコミュニケーションであり、思いやりや譲り合いから、よりよいコミュニケーションが生まれます。

交通死亡事故への「最短ルート」

飲酒運転、社会全体で根絶

平成十八年に福岡県内において幼児三人が死亡する飲酒ひき逃げ事故が発生したのを契機に飲酒運転が大きな社会問題となり、飲酒運転の根絶やひき逃げの抑止を求める国民の声が高まりました。この高まりを受け、昨年九月十九日から飲酒運転をした本人に対する罰則の引上げ、車両や酒を提供したり、同乗者など飲酒運転を助長した周りの人の高まりや法改正を受け、飲

民の声が高まりました。この高まりを受け、昨年九月十九日から飲酒運転をした本人に対する罰則の引上げ、車両や酒を提供したり、同乗者など飲酒運転を助長した周りの人の高まりや法改正を受け、飲

にも罰則規定を設けた改正道路交通法が施行されました。

山梨はワースト4位
県内でも飲酒運転根絶気運の高まりや法改正を受け、飲

酒が関係する交通事故（以下「飲酒事故」という。）は減少傾向にあります。法施行後一年間の県内における飲酒事故は七十件で、施行前一年間と比較して二十七件減少しました。しかし、人口十万人当たりの飲酒事故件数は、全国ワースト四位と県内の飲酒事故発生率は極めて高く、死者数も四人で施行前と比較して倍増するなど憂慮すべき状況にあります。（表、グラフ参照）

また、運転者本人ばかりでなく、職場や地域社会、あるいは家族、友人との間において、飲酒運転を助長するような習慣や行動がまだ多く存在している状況にもあります。

死亡事故率が大幅増

アルコールは血液とともに体内に循環し、脳の働きを麻痺（まひ）させ、安全運転に必要な視覚・聴覚等の感覚機能

ハンドルキーパー確保

車社会から飲酒運転を根絶するには、甘い認識や悪（あ）しき習慣等を断ち切り、「飲酒運転をしない、させない」とする社会全体の強い意志が必要で

4つの原則を徹底

最近では、飲酒運転根絶に向け、マスメディアにおける「飲酒運転根絶キャンペーン」の展開や交通安全協会、飲食店組合などでは「ハンドルキーパー運動」の普及促進に取り組んでいます。さら

能や判断力・注意力の低下を招きます。具体的には、気が大きくなり速度超過などの危険な運転をする、車間距離の判断を誤る、危険回避のための反応が遅れるなど、交通事故に結びつく可能性が高くなります。

平成十九年中に全国で発生した死亡事故では、飲酒運転の死亡事故率は飲酒なしの九・四倍、酒酔い運転の場合には、飲酒なしの三十四・四倍にまで上がるといった高い結果が出ています。飲酒運転は、死亡事故などの重大交通事故につながる最短ルートであることを理解する必要があります。

に、企業でも就業規則に飲酒運転禁止を定め、飲酒運転をした者は解雇したり、始業前八時間の飲酒禁止などを実施しているところも増えてきました。このような飲酒運転を許さない環境づくりが飲酒運転根絶には必要不可欠であります。悲惨な交通事故をなくすため、地域・家庭・職場など社会全体で飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化していきましょう。そして、一人一人が次の四点を徹底してください。

一、お酒を飲んだら絶対に運転はしない。
一、お酒を飲んだ人に車を貸さない。
一、運転する人にお酒を出さない。勧めない。
一、お酒を飲んだ人には運転をさせない。同乗しない。どんなに悔やんでも、失われた大切な命は還ってきません。

※「ハンドルキーパー運動」は、車で飲食店等に行った場合にお酒を飲まない人を選び、仲間を安全に自宅まで送り届ける運動。

飲酒運転 罰金 MENU

酒酔い運転……1,000,000円

(5年以下の懲役又は100万円以下の罰金)

酒気帯び運転……500,000円

(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)

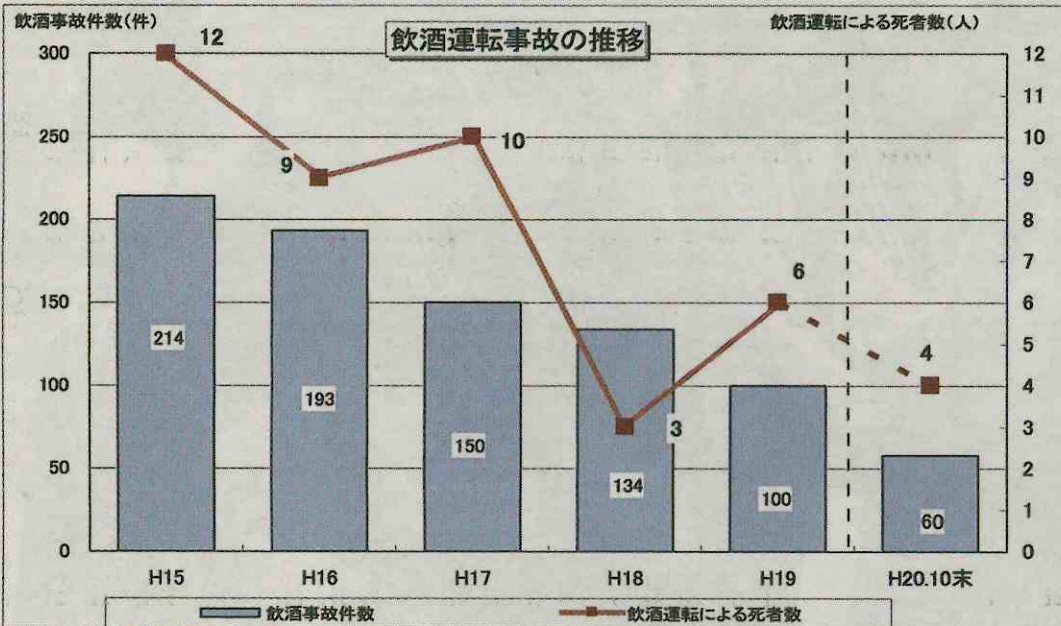
飲酒運転は重大な犯罪です!!

特別 MENU

同乗者……500,000円

運転者が酒酔い運転の場合

(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)



改正道路交通法施行後1年 飲酒事故の発生状況

	発生件数	死者数
施行後 H19.9.19~H20.9.18	70	4
施行前 H18.9.19~H19.9.18	97	2
増減数	-27	+2
増減率	-27.8%	+100.0%

山梨県警察交通部から

「休んだから…」の誤認

飲酒運転がなくならない背景には「ちょっと飲んだだけだから」、「捕まらなければいい」などと身勝手な理由をつけ、違反を承知して運転するという運転者本人のモラルの欠如や「休んだから大丈夫」などの誤った認識が挙げられます。

また、運転者本人ばかりでなく、職場や地域社会、あるいは家族、友人との間において、飲酒運転を助長するような習慣や行動がまだ多く存在している状況にもあります。

アルコールは血液とともに体内に循環し、脳の働きを麻痺（まひ）させ、安全運転に必要な視覚・聴覚等の感覚機能

車社会から飲酒運転を根絶するには、甘い認識や悪（あ）しき習慣等を断ち切り、「飲酒運転をしない、させない」とする社会全体の強い意志が必要で

最近では、飲酒運転根絶に向け、マスメディアにおける「飲酒運転根絶キャンペーン」の展開や交通安全協会、飲食店組合などでは「ハンドルキーパー運動」の普及促進に取り組んでいます。さら

能や判断力・注意力の低下を招きます。具体的には、気が大きくなり速度超過などの危険な運転をする、車間距離の判断を誤る、危険回避のための反応が遅れるなど、交通事故に結びつく可能性が高くなります。

平成十九年中に全国で発生した死亡事故では、飲酒運転の死亡事故率は飲酒なしの九・四倍、酒酔い運転の場合には、飲酒なしの三十四・四倍にまで上がるといった高い結果が出ています。飲酒運転は、死亡事故などの重大交通事故につながる最短ルートであることを理解する必要があります。

に、企業でも就業規則に飲酒運転禁止を定め、飲酒運転をした者は解雇したり、始業前八時間の飲酒禁止などを実施しているところも増えてきました。このような飲酒運転を許さない環境づくりが飲酒運転根絶には必要不可欠であります。悲惨な交通事故をなくすため、地域・家庭・職場など社会全体で飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化していきましょう。そして、一人一人が次の四点を徹底してください。

一、お酒を飲んだら絶対に運転はしない。
一、お酒を飲んだ人に車を貸さない。
一、運転する人にお酒を出さない。勧めない。
一、お酒を飲んだ人には運転をさせない。同乗しない。どんなに悔やんでも、失われた大切な命は還ってきません。

※「ハンドルキーパー運動」は、車で飲食店等に行った場合にお酒を飲まない人を選び、仲間を安全に自宅まで送り届ける運動。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691



「飲酒運転しない・させない山梨キャンペーン」を呼びかける「卓上カレンダー」



飲酒運転させない 酒類提供店で掲示
県と県交通対策推進協議会では、県警察と連携して、平成二十年十二月一日から平成二十一年一月三十一日までの二カ月間「飲酒運転しない・させない山梨キャンペーン」を実施します。

このキャンペーンでは、県内の酒類提供店の協力を得て、店内に「飲酒運転させない宣言の店」(卓上カレンダー)を掲出し、店関係者と来店者の飲酒運転根絶の意識高揚を図り、飲酒運転をしない・させない環境づくりを強化します。

飲酒運転をしてはいけないことは、誰もが知っていることですが、残念ながら飲酒運転はなくなっておりません。飲酒運転で事故を起こしたドライバーは、「今まで事故を起こしたことがなかった」「このくらいなら大丈夫だと思った」と、安易な気持ちで飲酒運転をし、事故を起こしています。いけないこととわかっていて、飲酒し運転する「飲酒運転」や「うっかり」はあります。車を運転する方は「飲酒運転は悪質な犯罪である」ことを認識し、飲酒運転は絶対にしないことを徹底していただきます。

飲酒運転をしてはいけないことを徹底していただく必要があります。また、家族や友人、同僚など周囲の人が止めていけば起きなかつたと思われる飲酒運転事故も少なくありません。車を運転することを知らずいながら「飲酒を勧める・酒類を提供する」「飲酒していることを知っているながら「運転をさせる・その車に乗せる」・車を提供する」といった行為も、飲酒運転をした人と同じように道路交通法の罰則が適用されます。見て見ぬふりをせず「飲酒運転をさせない・ゆるさない」環境をみんなでつくりあげましょう。

運転者以外の周辺者に対する罰則

車両の提供 ※運転者と同じ刑罰	運転者が酒酔い運転	5年以下の懲役または100万円以下の罰金
	運転者が酒気帯び運転	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
酒類の提供 車両に同乗	運転者が酒酔い運転	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
	運転者が酒気帯び運転	2年以下の懲役または30万円以下の罰金



このICカード免許証が導入されると、免許証の偽造を防止することが可能となつてその安全性や信頼性が格段に向上するため、安全で安心な地域社会を築く上において大きな効果が期待できます。

このICカード免許証が導入されると、免許証の偽造を防止することが可能となつてその安全性や信頼性が格段に向上するため、安全で安心な地域社会を築く上において大きな効果が期待できます。

運転免許課では、県下の各警察署から上申される交通違反や交通事故の行政処分について、毎日審査を行つていますが、それら審査を通して感ずることは、公安委員会が適正な運転能力があると判断し

考えますと、ICカード免許証の導入が間近となったこの機会に、すべての免許証保有者が社会に果たすべき責任を改めて自覚する必要があるのではないかと思惑しております。

県警運転免許課長 佐野 俊夫



県下の交通事故情勢は、依然として厳しいものがあります。そして、その多くが運転者に原因があることを

ICカード免許証の導入に当たって

山梨県では、来年一月四日(日)からICカード免許証の発行を開始します。それでは、ICカード免許証とは一体どのような免許証なのでしょう。せっかくなのでこの紙面をお借りして紹介したいと思います。

半導体集積回路、いわゆる小型ICチップを内蔵した新たな形態の免許証であり、個人のプライバシーを保護する観点から本籍欄が空欄となっております。

そのため、県民一人ひとりがこの新たな免許制度を正しく理解し、活用していただくと思います。

ところで運転免許証は、公安委員会が運転者として適正な運転能力があると判断し

て免許証を交付しているにもかかわらず、その期待を裏切るかのごとく、交通違反を繰り返すドライバーや不注意により重大な事故を起こすドライバーが実に多いということです。

平成21年1月4日から 運転免許証は更新・新規取得時にIC免許証になります!

4ケタの数字2組の暗証番号が必要です



- ・個人情報を守るため本籍は空欄表示となります。本籍データはICチップに入っています。
- ・ICチップの情報が偽造を防止します。
- ・ICチップの分だけやや厚く、硬くなります。
- ・免許証の大きさは変わりません。

小型ICチップ内蔵

新年の最初の免許更新日は、窓口が大変混雑します。特に、平成21年1月4日は日曜日とも重なり、総合交通センターの来場者数が初めて1,000人を超えることが予想されています。可能であれば、すいている**平日の来場をお勧めします。**

※なお、県警運転免許課都留分室及び県内各警察署は1月5日(月)からの受け付けになります。

上野原



通勤・通学時間に合わせ街頭PR

上野原安協は秋の交通安全運動に先立ち市役所で出発式を行い、街頭指導でシートベルトの着用徹底などを呼び掛けました。また、通勤・通学時間に合わせて駅前や主要幹線道路で黄色い羽根を配布しました。高齢者交通安全教室も開かれ、約30人が参加して上野原自動車教習所のコースで教習所職員に実車指導を受けたり、高齢者の交通事故の実態を学んだりしました。



日下部



恒例の交通安全ゲート開催

日下部安協などは秋の全国交通安全運動を前に、JR山梨市駅前など5カ所で街頭指導を行いました。すべての座席でのシートベルトとチャイルドシートへの着用や反射材の活用を歩行者やドライバーに呼び掛けながら黄色い羽根や反射材付きタスキなどを配布しました。女性部は夏期研修会を行い、交通事故状況や事故防止について学びました。9月29日には第2回日下部警察署管内交通安全ゲートボール大会を開催。61チーム約350人が熱戦を繰り広げるとともに高齢者の事故防止を啓発しました。

甲府



北新、石田の交通少年団員が大活躍

甲府安協は秋の全国交通安全運動に合わせ、多彩な啓発活動を展開しました。北新、石田の両交通少年団員ら61人が国道411号でドライバーに「事故に気を付けてください」などと書かれた児童の手紙やチラシを手渡しました。一方、高齢者交通安全グラウンドゴルフ大会では道路を横断するときの注意点などについて指導を受けた後、約110人がプレーを通して交流しました。各支部でも自転車走行の講習や街頭指導などを行いました。



富士吉田



子どもの安全願い人形作製

秋の全国交通安全運動の一環として、後部座席のシートベルト着用を呼び掛けるプレートを作成し、タクシー協会や地区安協支部に贈呈しました。街頭指導も行われ、小明見地区などに伝わる子どもの健康や子宝を祈願する「ほうこう人形」約200個を向原地区の住民が製作し、「子どもが事故に遭わないように」との願いを込めて配布しました。高齢者交通安全宣言大会には高齢者約70人が参加。富士吉田警察署員でつくる劇団の交通安全をテーマにした寸劇を鑑賞しました。



南甲府



風見しんごさんが一日署長

秋の全国交通安全運動ではタレントの風見しんごさんが一日警察署長を務めました。安協役員らとともに国道358号で街頭指導を行い、長女を交通事故で亡くした経験から「交通事故ゼロ」を訴えました。このほか昭和町内では「死亡事故0の日」活動、中央市(旧玉穂町)内では交通安全母の会の協力で街頭指導を、それぞれ行いました。



大月



高齢者宅訪問、安全呼び掛け

大月安協は秋の全国交通安全運動に合わせ、大月市猿橋町内と都留市上谷地区で高齢者の交通事故防止を啓発する訪問活動を行いました。安協会員や大月警察署員ら50人が国道沿いにある高齢者の家を訪ね、交通ルールを守ることや、夕暮れ時と夜間の歩行中の事故防止を呼び掛けながらチラシや反射材を手渡しました。



地区安協の活動

鯉沢



女性部員が手作りマスコット、街頭配布

鯉沢支部では秋の全国交通安全運動実施について周知を図るため、チラシを作成しました。鯉沢町内約1600戸に全戸配布。チラシはA3判で、高齢者の横断中の交通事故統発を取り上げ、信号機や横断歩道がある場所での横断を呼び掛けました。増穂支部では女性部員がマスコットを手作り。運動期間中の街頭指導で配布しました。また同女性部では活動の際に着用する、そろいのジャンパーも作成しました。



地区安協の活動

南部



園児らが交通安全パレード

南部では秋の全国交通安全運動期間中の2日間、園児と老人クラブのメンバーが交通安全パレードを行いました。園児が「交通安全のやくそく」を宣言した後、マーチング演奏やパレードを行い、最後に交通安全への願いを書いた風船を飛ばしました。また、JAふじかわが販売している南部茶のペットボトルに交通安全のスローガンを印字し、街頭指導で配布したところドライバーに好評でした。



笛吹



「交通安全たまご」で事故防止訴え

秋の全国交通安全運動として、国道411号笛吹橋北詰交差点で笛吹市7支所と笛吹安協、笛吹署員ら60人で街頭指導を行いました。笛吹安協女性部が作った「交通安全たまご 黄身(君)を守る」と安協一宮支部からの甲州ブドウ、チラシを袋詰めにして、「高齢者の事故防止」「飲酒運転の根絶」などを呼び掛けながらドライバーに配布しました。



南アルプス



館ひろしさんが一日署長

秋の全国交通安全運動に合わせ、俳優の館ひろしさんが一日警察署長を務めてさまざまな啓発活動を行いました。南アルプス警察署での委嘱式や車両点検などの後、総合交通センターで山梨放送の植田有紀子アナウンサーと館さんが管内の交通事故発生状況などについて説明。ハンドルキーパー運動や反射材装着を呼び掛けました。館さんからは女性部副会長6人に啓発品が手渡されました。移動の際は交通機動隊白バイの先導でパレードも行われました。



韮崎



「福祉の日」イベントで安全啓発行事

韮崎安協では秋の全国交通安全運動出発式を韮崎警察署で行い、道の駅にらさきの前でチラシや啓発品を配布して街頭指導を実施しました。10月4日の福祉の日記念まつりではシートベルト衝撃体験車による体験コーナーの設置や風船の配布などを行いました。10月12日の武田の里まつりではパントマイムによる啓発が行われたほか、同日は甲斐市わくわくフェスタにも参加して事故防止を呼び掛けました。



北杜



高齢者安全推進リーダーを委嘱

秋の全国交通安全運動では、高齢者への交通安全啓発活動として「高齢者地域交通安全推進リーダーの委嘱および交通安全ゲートボール大会」を開きました。北杜警察署と北杜安協から参加者202人に委嘱状と反射材付バッグが手渡され、代表者が「交通安全宣言」を行いました。また、飲酒運転根絶キャンペーンの一環として「ハンドルキーパー運動推進の店」のマグネットを作成。管内の酒類提供飲食店に配布して協力を要請しました。

飲酒運転根絶
ハンドルキーパー運動推進の店

北杜警察署
北杜交通安全協会

県中学生交通安全弁論大会優勝作品

その日は青空がどこまでも続く天気の良い日でした。私は家路に向かい、自転車をこいで急いでいました。「早く家でのんびり過ごしたい」とそんな思いが自転車をこぐ足を急がせました。ちょっとした交差点にさしかかった瞬間、「ガチャン」と鈍い音がして、私は自転車ごと道路に横たわっていました。何が起ったのか一瞬理解できませんでした。自転車の挟まれた足に痛みを感じ、身を起こしてみようと、気が付くと目の前に車のバンパーがあったのです。自動車とぶつかったことをそこで初めて自覚しました。さいわい痛みも少しづつ治まり、擦り傷程度のけがとわかれると、軽いケガの状態とは裏腹に、重いくらいの恐怖に襲われ、しばらくその場を動けませんでした。すぐにかけてくれた家族の顔を見たと、心配をかけてしまったことに気づき、いともたっでもいられない気持ちになりました。



ふるさとやまなし 思いやりにあふれた心の標識

中村 早希 (双葉中3年)

最悪の事態も現実にあるのです。家族にとってこれ以上の悲しみや苦しみがあろうでしょうか？その苦しみをどう耐えていけるのでしょうか？

双葉中学校区では「あいさつロード」という区間が定められ、一定の区間で地域の方々あいさつを交わしながら登下校をしています。「おはよう。気をつけていってらっしゃー！」「行ってきますー！」

なら、私が事故に遭ったその場所には、警察関係者、交通指導員の方々や道路標識がなかったからです。交通安全は、地域の方々をはじめ多くの人々に支えられたいものだと思えました。

まさか自分が事故に遭うなど思いもよりませんでした。「このくらい大丈夫」という油断があったのかも知れません。もし、あの時、いつも通り慣れた道とあ

だからこそ、私たちひとりひとりの心にも「思いやり」という標識を掲げ、身近な地域から事故を減らしていきましょう。お互いの安全を思いやり、命や、家族の幸せ、そして、やまなしの安全を大切に守っていきましょう。私も声を大にして宣言します。

「いつも心に『思いやり』という標識を掲げていくことを」



優勝した中村早希さんの発表 一敷島総合文化会館

山梨県中学生交通安全弁論大会

中村さん(双葉中3年)が優勝

第五十回山梨県中学生交通安全弁論大会が山梨県警察本部と山梨県交通安全協会の共催で十月二十三日、敷島総合文化会館で開催されました。

大会には県内十二警察署管内の地区大会で優秀な成績を収めた十二人と昨年優勝者の所属校と大会協力校各一人の十四人が出場、持ち時間五分で「論旨のわかりやすさ」表

現の適切さ「発表の態度」を基準に審査した結果、「ふるさとやまなし思いやりにあふれた心の標識」の演題で、双葉中学校三年中村早希さんが優勝しました。

出場者は、自らの体験などを通じて感じたこと考えたことを中学生の目線から訴え審査員をはじめ観衆に感動を与えました。

弁論の内容につきましては「中学生交通安全弁論大会弁論要旨集」を発行し、県下の中学校をはじめ、関係機関団体に交通安全教育資料として配布してあります。

受賞者は次の通りです。

▽優勝 △山梨県知事賞
中村早希(双葉中三年)
▽準優勝 △山梨県議会賞
長賞 西川奈々(増穂中三年)

▽山梨県教育長賞 志村言実(甲府東中一年) △山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長賞 深澤優(御坂中三年)

▽優秀賞 鈴木敬登(田富中三年) 河西安奈(白根御勅使中二年) 望月文乃(万沢中一年) 森久保優輝(高根中二年) 岡田紀(笛吹中三年) 不動田美保(蔵中二年) 長田杏奈(笛吹中二年) 渡辺真衣(下吉田中三年) 佐々木柚香(富浜中三年) 土屋勇歩(敷島中三年) 以上敬称略

南アルプス安協が団体優勝
個人は南アの望月光長さん
高年齢者交通安全大会
県交通安全協会・地区交通安全協会共催、山梨県警察本部

部・山梨県自転車軽自動車商協同組合後援で十月十七日、山梨県総合交通センターで第一回高年齢者交通安全大会を開催しました。

高年齢者による交通事故が後を絶たないことから、各地域の住民に対する交通安全指導者の育成を目的に実施、県内十二の交通安全協会から三十五人が参加しました。

大会は警察官による高年齢者の交通事故状況等の講話を受けてから、歩行者横断トレーナーの体験、後半では自転車体験コースで決められたコースを走行し、各ポイントでのチェックによる競技を行いました。

閉会式では、参加者全員に高年齢者交通安全リーダー証を交付、自転車競技の成績上位の団体と個人を表彰しました。

成績上位の団体・個人は次のとおりです。

▽団体の部 △優勝 南アルプス交通安全協会(望月光長、小林一三三、三枝秀武)
▽準優勝 笛吹交通安全協会(小泉千太郎、藤原武人、駒井貞夫) △第三位 南都交通安全協会(青柳正一、片田健彦、遠藤和男)

▽個人の部 △優勝 望月光長(南アルプス交通安全協会) △準優勝 三枝秀武(南アルプス交通安全協会) △第三位 藤原武人(笛吹交通安全協会) 以上敬称略



真剣な表情で自転車競技にチャレンジする参加者ら 一県総合交通センター自転車体験コース

DSafety Drive

山梨中央広告社グループ
YAMAMASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.
株式会社 山梨広告運送
中央市西新居330-7
TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842
http://www.yamanashi-oriokomi.com

(社)山梨県トラック協会



[平成19年度標語コンクール最優秀]

地球環境大切に 荷物と安全運びます

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起こっているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任をもって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)・(社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局



AMS (自動車整備振興会)

◆整備技術の研鑽！ 第17回自動車整備技能競技会を開催

自動車整備技術の更なる向上、整備事業の公共性と業界の教育訓練、技能練磨の姿勢を広く社会に示すことにより、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的として、10月4日(土)、第17回山梨県自動車整備技能競技大会をアイメッセ山梨で開催致しました。

この大会は、1チーム2名により全支部(18支部)が出場し、12ヶ月法定定期点検整備の確実な実施、エンジンや電気系統等の故障探求等を実技で競いました。

白熱した競技が展開され、その結果、次のチームが入賞し、優勝チームは、本県代表として平成21年に開催される全国大会に臨むこととなります。

《優勝》南アルプス南支部 野田夏樹選手(野田モーターズ) 新津貴之選手(新津モーターズ) 《準優勝》南巨摩北支部 山田昌志選手(山田自動車整備工場) 中込正行選手(中込モーターズ) 《第3位》甲府北支部 西田裕之選手(山梨交通(株)甲府整備工場) 中込芳博選手(山梨交通(株)甲府整備工場)

◆車ふれあい祭り2008を同時開催！

自動車の安全確保及び環境保全に対する社会的要請が高まる中、自動車の不具合による事故や公害を防止するため、自動車ユーザーに点検整備が義務付けられています。しかし、その実施状況は必ずしも十分といえない状況が続いております。一方で、交通事故や自動車による大気汚染等も引き続き解決が必要な状況です。

そこで、自動車ユーザーに日頃の点検整備の大切さを感じ取って頂くため、上記の技能競技大会に合わせて「車ふれあい祭り2008」を開催しました。

当日は、約2千名のご来場を頂き、「マイカー一点検教室」「自動車なんでも相談所」をはじめ、「シートベルト衝撃体験」「運転適正診断」「模擬店」「お楽しみ大抽選会」等、数多くのイベントを展開しました。

また、ステージでは、キャラクターショーが行なわれ、子どもたちから大きな歓声も上がり、来場者で賑わいました。



自動車安全運転センター

SDカードSMをお持ちですか？

- 自動車安全運転センターでは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書を申請された方で、1年以上無事故・無違反の方にSD(Safe Driver)カードを差し上げています。
- SDカードには、無事故・無違反の年数により次の4種類があります。

金色	銀色	水色	若草色
10年以上	4年以上10年未満	2年以上4年未満	1年以上2年未満

ご存知ですか？ SDカードの特典

- SDカードをお持ちの方は、金融機関での「マイカーローン金利サービス」、「安全運転定期預金」、スーパーマーケットでのポイントサービス、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、遊園地、ゴルフ場、クリーニング店、自動車整備工場等自動車安全運転センターと契約している「SDカード優遇店」で割引等のサービスを受けられます。(使用日から1年以内に発行されたカードを対象)

〈お問い合わせ先〉

自動車安全運転センター山梨県事務所

南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 <http://www.jsdc.or.jp/>
FAX (055)285-2951



中日本高速道路株式会社

ETCを安全にご利用ください

1 ETCレーンでは、時速20km以下の安全な速度で通過してケロ。



ETCレーンには時速20km以下に減速して進入してください。また、走行中は十分な車間距離をとって安全走行を心がけてください。

2 ETCゲートの信号と表示板に、気をつけてケロ。



ETCレーンに進入する前に、信号が「赤」になっている場合は、ETC搭載車も通行できません。またレーン内の路側表示機が「STOP」の表示となる場合があります。その際はETC開閉バーの手前で停止し係員の指示に従ってください。

3 ETCカードの挿し忘れに、気をつけてケロ。



カードの挿し忘れや有効期限切れのカードでは、開閉バーが開きません。ETCカードは車載器にしっかり挿入し、正常に作動することを確認してからご利用ください。

中日本高速道路株式会社 八王子支社